

平成25年度 ビタミンプロジェクト実施事業

事業実績書



平成26年3月

～はじめに～

「諫早はな～んもなか」市外、県外からお越しのお客様との会話で聞こえてくる常套句。

はたして本当にそうなのでしょうか？

まちの真ん中には川が流れ、周りを見渡すと山と深い緑に囲まれている自然豊かな諫早は、たくさんの魅力ある場所が、モノが、人が点在しています。

「諫早もりあげガールズ」は

「点在する諫早の魅力を女性目線で掘り起こし、点を線にすることで、諫早の観光を考え、まちを活性化させたい」という思いをもつ異業種の女性9人で結成した市民グループです。

Vファーレン長崎のホーム地、長崎がんばらんば国体、新幹線開通など、今後多くのお客様が諫早を訪れます。

女性目線でつなぎ合わせた諫早の魅力を一人でも多くの方に知っていただくため、自分たちの目で見た感動を、舌で感じた味を、伝えたい。

キーワードは **“あるものを活かして ないものを創る”**

異業種だからこそその“違い”に気づき、お互いの「持ち味」を認め合い、持っているスキルや人脈をフルに活かして、諫早中を走り回らる中で、実感したこと、それは「諫早っていいね～」ということ。

あたりまえすぎて、自分達自身が気づいていなかった、ふるさと諫早の魅力について、どうやったら伝えることができるのか、どうやったら興味をもってもらえるのか、そんなことを考え続けた1年間でした。

あたふたと初めてのことにチャレンジしていく中で、いろいろと支えてくださったサポーターの皆様、快く取材等に応じてくださった市民の皆様、その他、ご協力いただいたすべての皆様に感謝です。

平成26年3月31日

諫早もりあげガールズ

内 田 輝 美	村 川 美 詠	岩 本 頼 子
入 江 詩 子	川 原 孝 子	数 原 有 希 子
福 田 正 子	原 田 千 桂 子	友 廣 皇 子

「知る」～諫早のよかところ発見～

<おもてなしのチエ講座の開催>

【開催日時】 平成25年6月24日

【開催場所】 諫早市男女共同参画推進センター

【内 容】 南魚沼市女子力観光プロモーションチームを招いての勉強会
(参加者) 16名



<ウエスレヤン大学学生とのコラボ>

【開催日時】 平成25年7月16日

【開催場所】 諫早市男女共同参画推進センター

【内 容】 ウエスレヤン大学スイーツ研究会による視察報告会
(参加者) 22名



＜市内視察、取材＞まち歩き、取材、撮影、物語の発掘

諫早の魅力について、あらためて知るため、ガールズそれぞれが、市内各所に取材に出かけ、ホームページ用の写真撮影を行った、



7/16 ミニ眼鏡橋取材

7/25 川まつり取材



9/6 高来紙すき体験



9/10 高来スイーツ試食会
(お土産品ブラッシュアップの検討)



10/23 轟峡歩き



11/19 寺活 (天祐寺ご住職のお話を聞く会)



11/13 横林ブルーベリー園取材



11/20 中原くじら商店取材



11/22 灯りファンタジア取材



11/21 市内スイーツ取材



12/13 このみちゃん取材



「想う」～夢を描く、戦略を練る～

<観光コースの作成→試乗会の開催>

【開催日時】 平成25年9月28日

【開催場所】 市内一円

【内 容】 観光コース4コース試乗会
(参加者) 51名



<「もりあげミーティング」の開催>

【開催日時】 平成25年10月29日

【開催場所】 諫早市男女共同参画推進センター

【内 容】 関係団体（市、コンベンション協会、商工会、やるはや等）との意見交換会を実施
（参加者）20名



<V・ファーレンへの提案>

【開催日時】 平成25年10月20日

【開催場所】 長崎県立総合運動公園競技場

【内 容】 女性目線による集客拡大戦略を提案



「創る」～夢をカタチにする～

<ホームページ開設>

女性目線で諫早の魅力を伝えるホームページを開設（平成26年1月末）



<http://isahaya-moriage-girls.com/>

<コラボ商品開発>

【うなタルサンド】

トルガカフェとコラボして、若い人にも気軽に食べてもらえるようなうなぎの新メニューを開発。（平成25年12月8日販売開始）



【ガールズ酒「諫杯 (kanpai)」】

杵の川酒造と共同で女性向けのお酒を開発し、平成26年3月22日～23日の「蔵開き」にて限定500本を販売。



<ガールズパンフレット、ポスタ等一の作成>

ホームページPR用パンフレット、イベント等で使用するのぼり、ポスタ等を作成。

※ パンフレット、ポスターは、別添のとおり

<観光コース創設>

(諫早市タクシー協会へ20コースの観光ルート提案)

試乗会の結果をもとに、観光コースを再検討し、諫早市タクシー協会に提案した。

結果、平成26年3月末には、正式な「観光タクシー」のコースとして、長崎陸運支局から認可された。

※ 諫早市タクシー協会が長崎陸運支局に提出した提案書は別紙のとおり

「動く」～女性目線のPR戦略～

<おもてなしのココロ講座開催>

【開催日時】 平成26年2月10日

【開催場所】 諫早商工会館

【内 容】 「女性客が増える5つの法則セミナー」開催
(参加者) 132名



※ 参加者のアンケートは別紙のとおり

<メディア活用>

【新聞】 5/1 長崎、9/5 毎日、9/8 読売、9/22 長崎、9/29 長崎、
10/14 毎日、11/7 長崎、1/9 西日本、3/20 毎日、3/21 長崎、
3/27 長崎

【テレビ】

7/24 NHK 「見んと！ながさき」



10/2NBC「あつ!ぷる」



11/2NIB「ひるじげドン」



諫早ケーブルテレビ（9月、新春特集、3月）



【ラジオ】 5 / 3 エフエム諫早、 9 / 1 0 長崎市民エフエム



【ナイスいさはや】 9 / 1 0 (試乗会参加者募集)、1 0 / 9 (試乗会報告)

【Y o u T u b e】「恋するフォーチュンクッキー諫早バージョン」出演



<PR 作戦>

- ・ 3 / 22 杵の川「蔵開き」～JR 諫早駅～V・ファーレン

PR のため、杵の川「蔵開き」、JR 諫早、長崎県立総合運動公園にて PR 活動を実施。うないさん、がんば君・らんばちゃんの協力も得ながら、ガールズのパンフレット（おこし付）を配付。



- ・ 3 / 31 長崎空港「ガールズセレクション」

長崎空港にて、ガールズおススメの商品でミニ物産展を実施。



「事業成果」 ～続く、つながる、広がる～

「諫早、もりあがってますね～」 「諫早の女性は元気ですね～」
「新聞見ましたよ」 「テレビ出てましたね」 「ホームページいいですね」
「諫早の美味しいお店を教えてください」 「ガールズ応援してますよ」・・・

新聞、テレビ、フェイスブック等のおかげで、「ガールズ」の認知度が高まるにつれ、よくこんな言葉をかけられるようになった。

「ガールズ」と言い張ってしまうメンバーの凶々しさはさておき、「ガールズ」という言葉の響きが、興味をそそることは事実で、「もりあげガールズの名刺を全部集めると幸せになるらしい」という都市伝説が生まれるほど話題になっている。

もちろん、メンバーの知名度があがることが目的ではなく、ガールズは諫早の魅力発信のツールであり、また、女性目線はこれからの観光、まちづくりに欠かせない視点であることから、この活動を続けることで、さらにいろんな資源や人材とつながり、活性化の輪が広がっていくことが重要である。

そのために、今後は、ガールズサポーターの募集を行ったり、他の市民団体とのつながりを強化したりしながら、さらにこの活動を広げるためイベント開催、情報発信等を行っていきたいと考えている。

